

大木良 （昭和） 歌人。明治三十二年四月十九日神奈川県中郡東秦野村生れ、昭和二年九月十八日歿（一八九一—一九七〇）。小田原中學校時代、前田夕暮の白百合社に入る。また當時の教師に、武田祐吉がゐた。大正五年慶應義塾大學理財科入學。八年今井嘉雄の紹介で、秦夜詩社に入り、河野愼吾の師事。大熊長次郎、中河與一、筱井嘉一等を知る。十年「秦夜」同人、編輯に關はる。十三年大學を中退、中井文美彦と三田短歌會を、更に新しく「三田歌抄」を創刊、短歌の他「蕉門訓」を連載した。十五年病を獲く、歌集「冬木の丘」（昭和二年十一月）日秦夜詩社「こねり」（叢書）出版のこころを大熊長次郎に托すと、生前刊行は間に合はなかつた。

